

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業共進会事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	03	01
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農作物 ②農業者	意図	①品質が向上し商品価値が高まるようになる。 ②農業者間で相互に刺激を与え合い、結果的に生産技術が高まるようになる。
事業内容	農作物の品評会（生産状態、農作物の商品外観にかかる評価）を開催し、上位者を讃え表彰を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	市施行当時、農業が盛んでありながら生産技術の情報を得る機会が少なかったことから、生産技術等の情報交換を主な目的として開始され、現在も継続している。 千葉県東葛飾農業事務所、とうかつ中央農業協同組合及び流山市園芸団体連合会の協力のもとで品評会を毎年1回開催している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	共進会出品数	532	503	552	品	→→	
②	主要共撰4品目売上額	95,642	127,128	110,086	千円	→→	JA出荷分 ^ア 、 ^イ 、 ^ロ 、 ^ハ の売上額	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆出品が約90種類にわたっていることから、種類が異なるものに対する優劣を決定するのに時間を要している。 ◆出展した農作物を展示後に市民に対して即売することで、市民への本市農業への理解を深める場となっている。 ◆生産者同士で競って高品質化を追求することで、共撰品全体の質的向上が期待できるが、優秀者のスキルを他の農業者に広めるよう努めている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,425,592	4,334,210	4,257,023				
事業費(b)(円)		306,592	307,010	301,823				
うち一般財源		214,342	220,460	222,023				
職員給与費(c)(円)		4,119,000	4,027,200	3,955,200				
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	優秀作品の生産技術について生産者にフィードバックできる仕組みを検討する。	③取組における課題(Check)	優秀者のスキルの共有化
②H30に実施した取組(Do)	団体での視察研修を通して生産技術についての知識を高めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	優秀作品の生産技術について、他の生産者に享受できる環境づくり。